

交渉権の代り

工場協議會

6.29 満足に近き 住友争

團體交渉問題に對する住友電氣株式會社所屬職工の要求は、川崎製鐵株式會社の警告に關し、如何なる回答を與へべきに付、鈴木理事の關係を見た住友電氣本店では、二十七日午後三時、山下中田兩氏、三浦氏、長谷川氏、二十一名本部長、川崎製鐵の結果二十八日午後二時、長谷川氏に宛てて、川崎製鐵の回答を待たせて居るが、長谷川氏は、示して解決を待たせた。

住友争

六月十四日附を以てせる當所の回答第一號の主旨は、其當時説明したるが如く、當所の職工に從來の通り任意に他の團體に加入するを得るものとす、又同回答中にある當所所屬職工の意見は、後述の方法として、職員に當所について指名の社員に依り、半数は當所に選出に依る工場協議會を組織し、労働時間、物質指數の高低に關連する最低賃金の増減、保健衛生、災害防止、互諒共済、福利、休養、風紀、教育其他職工の幸福増進に關し、當所の顧問又は職員に提案を審議調査し、其決議を當所方法の詳細に再りては決定の上更に發表すべし。

右の内容は、電報傳佈の三所に顯示したるものにて、電報傳佈の兩所に對しては、要求の回答となり仲

住友總本店

職工側

團體交渉

大坂朝報 6.29 兩氏職工 工場委員制 其他

住友總本店は、二十七日夜來、棟上理事重役全部會合、協議の結果、二十八日午前二時に到り、前同回答案を作製し、ので三時半に到り、職工側小幡氏は、該回答案を携へ、共益社に賀川氏を訪ひ、内容を説明する處があつた。

明かに 説明する處あり、住友總本店では、二十七日夜來、棟上理事重役全部會合、協議の結果、二十八日午前二時に到り、前同回答案を作製し、ので三時半に到り、職工側小幡氏は、該回答案を携へ、共益社に賀川氏を訪ひ、内容を説明する處があつた。

申す中
の工場協議會の組織は、
候年
の工場協議會の組織は、
候年

才
山
今
社
今
社
今
社

川崎製鐵大坂工場
職工側
要求案の第一條及び仲調所新
選會から提出した、要求案の要項
委員と藤本
である團體交渉協議會々に對
する回答書の範圍及び内容を
明かに 説明する處あり、
住友總本店では、二十七日夜來、
棟上理事重役全部會合、協議の結
果、二十八日午前二時に到り、前
同回答案を作製し、ので三時半
に到り、職工側小幡氏は、該回
答案を携へ、共益社に賀川氏を
訪ひ、内容を説明する處があつた。

商店の幹部會

親友會を大きくして團體交渉權に代へやうといふのが側の意向らしい。

住友

眞意を 傳ふる處あり

職工側

に組織されて

兩名は

同調案を

事實が

判明したので

引致さる

職工を殴打して